

働く女性  
たちからの  
メッセージいきいき  
仕事も生活も会員企業で活躍されている女性社員の方々のキャリア、  
働く上で心がけていること、仕事と生活の両立の知恵などをご紹介します。  
企業の女性活躍推進のヒントが見つかるかも知れません。鯨岡晴枝さん  
東北電力株式会社  
須賀川営業所 所長

宮城県

1974年入社。  
いわき営業所のほか、二本松、福  
島営業所、福島支店、いわき営業  
所副所長を経て、2010年7月か  
ら須賀川営業所所長となり現在に  
至る。

## ● 昨日より今日、今日より明日

会社生活を振り返ると私には2つの転機がありました。一つ目は、初めて管理職になった時です。総務部門の経験が長かった私は、畑違いの営業係長の辞令を受け、とまどいと不安の中での管理職第一歩でした。職場のメンバーと共に学び、達成感を分かち合った経験は大変思い出深く、今その時のメンバーが管理職として活躍していることをとてもうれしく思います。

二つ目は、初めての単身赴任です。子育て中で迷う中、「チャレンジしてから考えよう」という思いに家族が背中を押してくれ、地域の新たな発見や社内外の多くの方と出会い視野を広める良い機会をいただきました。

昨年7月から営業所長として初めての地で勤務しております。初心を忘れず、働いているからこそ得られる貴重な体験やエネルギーを大切にし、自然体で自分の道を進んでいければと考えております。そして、昨日より今日、今日より明日と少しでも自分が成長するよう努力していきたいと思っております。

加藤 希美子さん  
株式会社大光銀行  
小出支店 融資担当後席

新潟県

1988年入行。  
国際部等で外国為替業務を担当  
した後、営業店へ配属。  
現在に至る。  
「ポジティブ・アクション」チーム  
副リーダー。

## ● 何事も明るくポジティブに！

当行では、平成19年に「ポジティブ・アクション」チームを女性行員で立ち上げ、現在第2期チーム9人に引き継がれてからも個々人の意識改革・職域の拡大など様々な観点から積極的に意見交換を行い、男性が多い職場にあって相互に協力しあいながら職場環境の更なる向上に取り組んでいます。入行して23年、銀行外部への研修出席、結婚、育児、異動などライフステージも変化してきました。戸惑う私に「発想の転換。チャンスは曲がり角の先にある。」と指導して下さる支店長や周囲に励まされてきました。そのお陰もあり、現在は融資担当後席として部下行員を指導・激励する立場となりました。プレッシャーの大きい仕事に直面することもありますが、お客さまからの感謝の一言が何よりのやり甲斐となっています。私自身、いつのまにか自然に物事をポジティブに捉えることができるようになり、毎日子供たちの笑顔と「お仕事頑張って！」の言葉に力を貰い、仕事と家庭の両立に前向きに取り組みたいと思っています。

大淵 祐子さん  
医療法人清明会  
薬局 薬局長

佐賀県

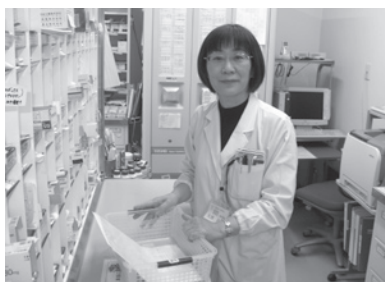
1990年11月入社。  
やよいがおか鹿毛病院に勤務。  
薬局長として管理業務に携わる。

## ● 少しでも患者様のお役にたてれば

急性期の病院で、病院薬剤師として勤務して21年になります。調剤、薬品管理、薬品情報提供など薬に関する事全般と管理業務をしています。日々努力していることは、安全に有効に薬物治療を行う事です。

患者様は年齢、身長、体重などお一人お一人異なりますので薬の量も、常用量 だけでは解決しないことがあります。患者様のあらゆる情報（検査値、食物摂取経路、過去に使用した薬品、病名など）を確認し、その方にあった薬や量、形態を考えます。処方内容に疑問がある場合は医師に疑義照会をし、解決してから調剤を行います。

今は、いつでもどこでも患者様の情報が閲覧できる院内ランのおかげで、より患者様にあった薬の照合ができるようになりました。薬剤師としての職業意識も高まり、他の職員と共同で少しでもお役に立つことがないかを考えながら楽しく仕事をしています。



松下 公美子さん

東京都

JXホールディングス株式会社  
総務部人事グループ  
担当マネージャー



1992年入社。  
人事、総務、秘書、広報などを担  
当し、2010年4月より現職。2  
児の母。

### ● いろんな経験が 引き出しを増やしてくれました

当社は昨年4月に新日本石油と新日鉱ホールディングスの経営統合により発足した会社です。人事グループでは、グループ全体の福利厚生諸施策の企画立案やグループ横断的な制度・教育の企画立案などを行っています。現在の担当業務は、主にグループ横断的な教育の企画・運営です。教育の目的は、人材育成であるということですが、統合会社の課題である早期融和についても、グループ横断的な教育を通じて進めていくことができると考えています。入社以後、人事、総務、秘書、広報を経験し、プライベートでは2児の母となりました。特定分野のスペシャリストにはなかなかありませんが、これまでの経験は、自分の中の引き出しを増やしてくれていると思います。限られた時間の中で成果を出すのは難しいことですが、私以上に育児を頑張っている夫の協力を得ながら、「あれこれ欲張らずに自分のできることをやるしかない」と思い、仕事に取り組んでいます。



須藤 由紀さん

東京都

キヤノン株式会社  
人事本部 ヒューマンリレーションズ推進部  
担当課長



1992年入社。  
給与、労政事務、人事システム構築業務など。  
入社以来人事関連業務を担当し、  
2004年より現職。

### ● 仕事での成長を目指して

現在、私は人事部門で社員のキャリアを支援する業務に携わっています。相談者の悩みや期待は一人ひとり異なります。当初は、相談者に対してフィードバックを効果的に行なうことや「人事部門が聞いてしまうことの責任」は大変な重圧でした。戸惑いもありましたが、真摯に耳を傾けることを続け、「できることと、できないことをはっきり伝える」ことで、信頼を伴ったコミュニケーションに結びつくようになりました。また、女性固有の問題に対しては、女性担当者としての視点を大切にしています。相談者から「前向きな気持ちで仕事に取り組めるようになった」とメールをもらうことがあります。これが私のやりがいになり、何よりその人達との出会いが自分の成長に繋がっていると感じています。これからも、社員一人ひとりを支援しながら、ともに成長できるように、仕事に取り組んで行きたいと考えています。

